

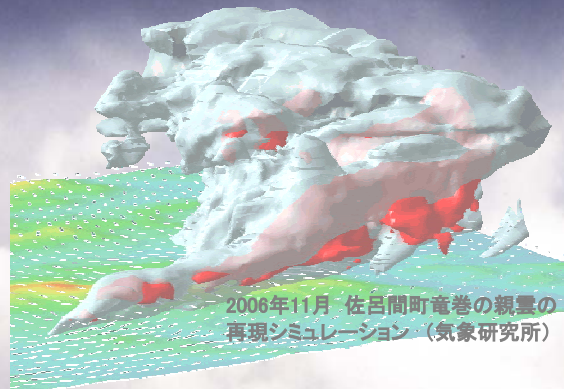


竜巻シンポジウム

—わが国の竜巻研究の今後の課題と方向性—



2006年11月7日 佐呂間町竜巻被害
札幌管区気象台 撮影



2006年11月 佐呂間町竜巻の親雲の
再現シミュレーション (気象研究所)

日時: 2007年 **1月23日** (火) **13:15~17:10**
会場: 気象庁 講堂
主催: 気象庁気象研究所



2006年9月17日 延岡市竜巻被害
宮崎地方気象台 撮影

第一部 講演 13:15~15:55

わが国における竜巻の発生状況とこれまでの研究の取り組みについて
新野 宏 東京大学 教授

竜巻の多様性

—2006年9月17日台風13号に伴う竜巻を中心として—

小林文明 防衛大学校 助教授

2006年11月7日佐呂間町の竜巻の現地調査報告と

今後の観測的研究の課題

鈴木 修 気象研究所 研究室長

雲解像モデルによる竜巻をもたらす積乱雲の再現シミュレーション

加藤輝之 気象研究所 主任研究官

積乱雲と竜巻のシミュレーション実験

坪木和久 名古屋大学 助教授

竜巻に対する構造物等の設計上の問題点と気象分野への期待

田村幸雄 東京工芸大学 教授

第二部 総合討論 16:00~17:10

「わが国の竜巻研究の今後の課題と方向性」

講演者とコメンテーターによる総合討論

司 会

新野 宏 東京大学 教授

コメンテーター

赤枝健治 気象庁観測部 課長補佐

竜巻実況把握に向けたドップラーレーダー観測の現状と課題

海老原 智 気象庁予報部 予報官

突風等に対する短時間予測情報の検討状況

会場アクセス: 東京メトロ東西線竹橋駅4番出口徒歩2分
または
東京メトロ大手町駅C2番出口徒歩5分

お問い合わせ先: 気象庁気象研究所企画室
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
TEL 029-853-8535
e-mail: houkoku2006@mri-jma.go.jp
URL: <http://www.mri-jma.go.jp>

入場無料

